

令和7年度 大分教育事務所管内 特別活動 取組事例集

なすことによって学ぶ

— 子どもが主体となる特別活動の実践事例 —

はじめに

特別活動は、「なすことによって学ぶ」を基本とし、子どもが主体的に学校生活をよりよいものにしていくことを目指す教育活動です。

本事例集は、大分教育事務所管内の学校における特別活動の実践の中から、参考となる取組をまとめたものです。これらの学校においては、子どもが主体的に話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりしながら実践する姿が見られました。

本事例集が、各学校における特別活動の充実に少しでも役立つことを願っています。

令和8年3月 大分教育事務所

目次

由布市立由布川小学校	学級活動（1）・・・・・・・・1
津久見市立津久見小学校	学級活動（3）・・・・・・・・2
由布市立東庄内小学校	学級活動（3）・・・・・・・・3
大分市立坂ノ市小学校	児童会活動・・・・・・・・4
臼杵市立下北小学校	児童会活動・・・・・・・・5
臼杵市立東中学校	生徒会活動・・・・・・・・6
由布市立庄内中学校	学校行事・・・・・・・・7

学級活動 (1)

折り合いを付けながら、集団としての意見をまとめ、**合意形成を図り実践した**取組事例

由布市立由布川小学校
(458名)

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、**合意形成**を図り、実践すること。

議題 ▶ 第5学年 交流会の遊びを決めよう

まとめる (決める) ← くらべ合う ← 出し合う



- 話し合うこと
- 話し合いの流れ
- 1 はじめの言葉
 - 2 議題の確認
 - 3 話し合いのめあての確認
 - 4 決まっていることの確認
 - 5 話し合い

💡 「学級会」等では、児童にとって必要感のある議題を選定することが大切。

💡 合意形成を図るためには、一人一人の思いを大切にしながら意見を出し合う活動、共通点や相違点を確認したり共通の視点をもってくらべ合ったりする活動、意見の違いを生かして考えをまとめる活動等を取り入れることが大切。

【子どもの姿】

相手の意見も受け入れ、**折り合いをつけ納得できる結論を導き出せる**ようになってきた。また、学級会で付けた力が、委員会活動での活発な意見の出し合いや、新しい取り組みへの挑戦にもつながった。

学級活動 (3)

事前・本時 (意思決定) ・事後の学習過程を設定し、学校の教育目標と関連付けながら、自分のよさや可能性を生かそうとした取組事例

津久見市立津久見小学校
(209名)

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

キャリア教育の要

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成
学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとすること。

題材

第5学年「自分になりたい6年生に近づくために～最上級生へのステップアップ～」

一連の学習過程

児童のワークシート

	児童の活動	目指す児童の姿(観点)(評価方法)
事前	<ul style="list-style-type: none"> アンケートに記入する。 学校の教育目標と関連付けながら、これまでまとめてきた自分のよさや可能性をもとに、自分になりたい6年生の姿について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートに答えることで、6年生に向けての期待や不安について考え、学習への見通しをもとうとしている。 【主体的態度】(アンケート) 学校の教育目標と関連付けながら、これまでまとめてきた自分のよさや可能性をもとにして、自分になりたい6年生の姿について考え、見通しをもとうとしている。
本時	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から、なりたい6年生に近づけているか考える。 なりたい6年生に近づくためのより行動できる目標を決め、伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合ったことを生かして、自分が実践することを意思決定している。【思考・判断・表現】(ワークシート・観察)
事後	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定した目標を意識して実践する。 実践について振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定したことを実践している。 【思考・判断・表現】(観察) 実践を振り返り、現在及び将来に向けて学校生活に生かそうとしている。【主体的態度】(観察・学習カード)

意思決定



自分になりたい6年生へのステップ・アップ

◎どんな6年生になりたいですか。「つくみ」と関連づけながら「自分になりたい6年生の姿」について考えましょう。

**強い心もち
低学年に注意したりお手本になる
6年生。**

◎「自分になりたい6年生の姿」に近づくための、より行動できる目標を決めましょう。

自分が持っていない強い心を持って、低学年がルールをやぶったり、ろうかを走ったりしていた時に注意するし、先手あいさつや、無言清そうなどで低学年のお手本になる。

◎目標についての振り返りをしましょう。

日付	目標についての振り返り
	「津小祭り」で「自分になりたい6年生の姿」の中の、低学年のお手本になるが守れたと思います。



具体的・実現可能・自己評価できる目標を設定できるようにする。



事後の実践は、期間を決めて取り組み、実践状況を話し合う。定期的に振り返りの時間を設け、実践意欲の継続を図ることが大切。活動の事前から事後までの一連の学習過程を振り返り、次の課題解決につなげることが大切。

【子どもの姿】

活動を計画的に設定したことにより、自分のよさや可能性に目を向けて目標を立て、**主体的に行動しようとする姿**が増えた。

学級活動 (3)

学校行事 (運動会) における自己の課題について、
話し合うことを通して解決策を意思決定し、実践した取組事例

由布市立東庄内小学校
(63名)

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

キャリア教育の要

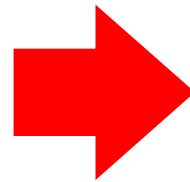
ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成
学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとすること。

題材 第3・4学年「運動会に向けて～一輪車競技～」

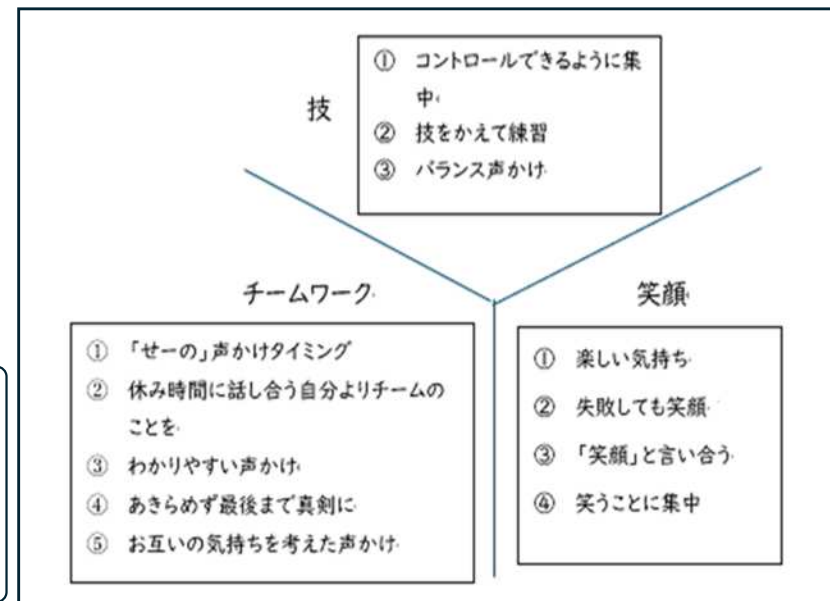
一連の学習過程

	児童の活動
事前	<ul style="list-style-type: none"> 運動会の表現の一部を自分たちで考える。 グループ発表、練習 運動会練習のテーマ決め。 話し合い、実践、振り返り。
本時	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇に(各自決める)喜んでもらう演技にするための解決策を話し合うことを通して、自分の頑張ること決める。
事後	<ul style="list-style-type: none"> 実践2回目 運動会に向けての練習 運動会本番

意思決定



本時の板書



小グループで話し合うことや板書を整理することで、他者の考えも参考にしながら、自己の課題解決の方法を意思決定できるようにする。

【子どもの姿】

話し合いの目的を児童にも伝え、**必要感をもって話し合い、より具体的な自己の目標をたて、それぞれの課題解決に向かうことができた。**また、お互いのよさを見つけ認め合う声かけをする姿が増えた。

児童会活動

学校生活の充実と向上を図るために、**学校の教育目標と連動させた**児童会活動の取組事例

大分市立坂ノ市小学校
(866名)

異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
※特別活動の目標

学校の教育目標

めあてをもち、
よく考えて行動し、
最後まで挑戦する児童

児童会スローガン

「坂小っ子はあかるいこ」

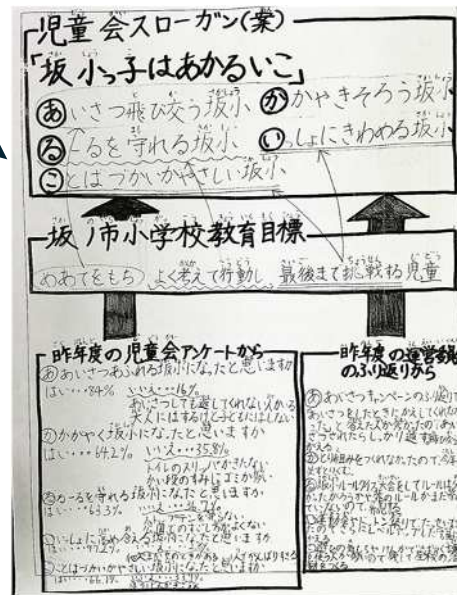
- あ・・・あいさつが飛び交う坂小
- か・・・かがやきそろう坂小
- る・・・るーるを守る坂小
- い・・・いっしょにきわめる坂小
- こ・・・ことばづかいがやさしい坂小

運動会スローガン

「いっしょに極める運動会」

日時	(9) 月 (17) 日 (水) 曜日 () 時間 朝活動
議題	(坂ノ市小) 運動会スローガンについて
提案理由 (理由の付け)	みんながスローガンを意識し、思い思いのこころを運動会にするため。 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100)
提案内容	次のことについて話し合ってください。 クラスとしての意見
議案内容	運動会スローガン 「いっしょに極める運動会」 (1) 設定理由 (2) 設定理由 運動会や練習の中で児童会スローガン 坂小っ子はあかるいこをいっしょに極める坂小 いっしょにきわめる坂小 ことばづかいがやさしい坂小 以上

【設定理由】
今年の**学校の教育目標**や、**昨年度の最後に全校みんなで考えた坂ノ市小学校の課題**に合わせて新しいスローガンを作りたいから。



【設定理由】
「坂小っ子はあかるいこ」の
「いっしょにきわめる坂小」に近づきたいから。



学校の教育目標を児童と共有し、児童会活動や学校行事等と連動させながら、学校生活の向上を図っていくことが大切。

【子どもの姿】

めあてをもち考え挑戦する姿が増えた。また、成果と課題を次年度へ引き継ぎ、改善を重ねる姿が全校一丸となった安心感と活気ある学びにつながった。

児童会活動

学校生活の充実と向上を図るために、**児童が課題を主体的に見だし**、解決に向けて全校で実践した取組事例

白杵市立下北小学校
(171名)

異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、**第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。**
※特別活動の目標

事前の児童の活動



日頃から学校生活を振り返る機会を設けることで、課題を見いだすことができるようにする。学級会の話し合いを通して、計画を立て協力して取り組み、学校生活の向上を図ることが大切。

- ・ **高学年が学校生活の困りを見つけ、学級会で話し合う。**
⇒「全校のみんなに楽しく勉強ができるようになってほしい」
- ・ 低学年～中学年・・・高学年が集中して取り組む姿を見て成長してほしい
高学年・・・他学年に教えることで勉強の楽しさを感じてほしい
- ・ 児童会が代表委員会で提案→各学級で話し合う

なかよし班活動

「なかよし班（異年齢集団）で教え合って対話を通して勉強を楽しもう」
【計画・実践】児童会
【内容】毎週水曜日昼休み後15分間、プリントを各自で解き6年生を中心に隣接学年で教え合い学習

教え合う様子



事後の児童の活動

- ・ 学期ごとに児童会からアンケートをとり、振り返り次の活動に生かす。

【子どもの姿】

「楽しい学級・学校生活を自分たちでつくる」という意識が高まり各学年、授業中も集中して学びに向かう姿が増えた。また、それぞれのよさを生かせる場が増えた。

生徒会活動

学校生活の充実と向上を図るために、**学校の校内研究（授業改善）と連動させた**生徒会活動の取組事例

白杵市立東中学校
(141名)

異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、**第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。**

※特別活動の目標

生徒会活動を通した学校生活の向上サイクル

＜目指す生徒像＞

- ・授業やあらゆる場面で、誰もが（どの生徒も）自分の考えを自分の言葉で根拠をもって伝わりやすく発言できる生徒
- ・あらゆる場面で、いろいろな考えを取り入れて、視野を広げたり、考えを深めたりすることによって再考する生徒

＜目指す授業像＞

- ・生徒と共に創る授業（「めざす生徒像」や各授業のねらい、各種学力調査の結果を生徒と共有する）
- ・学習図書委員会の「Let's 授業磨き」を意識した、生徒が主体的に学習する授業

「生徒と共に創る授業アンケート」(一部)

＜表現＞自分の言葉で根拠をもって発言しようとしている。

教師と学習図書委員が分析

「あらゆる場面」での取り組みを検証するための
学習図書委員会のアンケート(一部)

＜表現＞私は、あらゆる場面（短学活、生徒会、部活、日記）で、自分の言葉で根拠をもって表現（書いたり、発表したり）しようとしている。

教師と学習図書委員が分析

校内研究

アンケートの結果を基に改善策を検討

連動

学級活動

アンケートの結果と各学級の現状を基に改善策を検討



「目指す生徒像」等を教師と生徒が共有をすることで、各学級の課題を見だし解決の方法を合意形成を図り実践できるようにする。

【子どもの姿】

生徒の各種アンケートの肯定的回答の割合が高かった。また、**あらゆる場面で「わかりやすく伝える」姿や、授業中の挙手発言や自己表現が増えた。**

学校行事 (体育大会)

全校で協力し、よりよい学校生活を築くために、
「目指す生徒の姿」を教師と生徒が共有し、自己
 の目標を意識して全校で実践した取組事例

由布市立庄内中学校
 (108名)

全校又は学年の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

※特別活動の目標

体育大会を通して「目指す生徒の姿」の共有

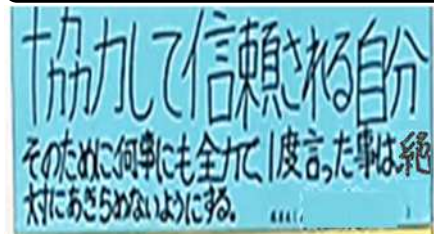
一連の学習過程

	生徒の活動	教師の取組
事前	<ul style="list-style-type: none"> ・ (個人)全校テーマや学級テーマの案を考える。 ・ (実行委員会)全校テーマ提案。 ・ (各学級)全校テーマ決定後、全校テーマを踏まえた学級テーマを学級活動で決定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (全教職員)「目指す生徒の姿」を共通理解する。 ・ 学年集会で「目指す生徒の姿」を伝える。 ・ 【目指す生徒の姿】(一部) ○今、何をすべき時か自分で考え行動する。 ○協力して取り組む。 ○お互いの頑張りを認め合える。
本時	<ul style="list-style-type: none"> ・ (個人)学級活動で意思決定をし、「なりたい自分カード」に目指す生徒自身の姿を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「なりたい自分カード」を掲示し、見取る。
事後	<ul style="list-style-type: none"> ・ (個人)意思決定したためあてを意識して体育大会で実践し、帰りの会で振り返る。 ・ 「振り返りカード」に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意思決定したことを実践できるよう声をかける。 ・ (全教職員)「目指す生徒の姿」に対する事後の姿も共通理解する。 ・ 次の学校行事等にどう生かすか声かけや見取りを継続していく。

💡 「目指す生徒の姿」を生徒と共有し、事後の姿を見取り今後学校生活にどのように生かしていくかを声かけをすることで、よりよい学校生活を築くことにつながる大切。

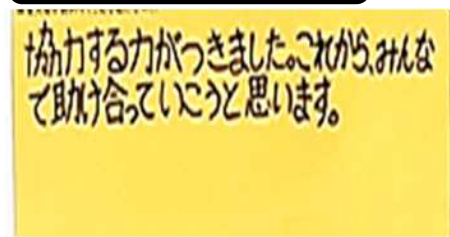
どんな自分になりたい？
 そのためにどんなことを頑張る？

なりたい自分カード (めあて)



どんな成長、変化があったかな？
 これから、どう生かす？

振り返りカード



【子どもの姿】

各種アンケートの結果より生徒の自己肯定感が高まった。次の課題解決に生かそうと、主体的に動く姿が増えた。